

超音波内視鏡(EUS)と同日のスクリーニング上部消化管内視鏡検査(EGD)の有用性に関する後ろ向き研究

1. 研究の対象

2020年4月1日～2022年12月28日の間に当院で胆膵疾患のために超音波内視鏡(EUS)を行い、それと同時にスクリーニング上部消化管内視鏡検査(EGD)を施行した患者さんと、2020年4月1日～2022年12月28日の間に当院検診センターで行なったスクリーニング上部消化管内視鏡検査(EGD)を施行した患者さん。

2. 研究目的・方法

超音波内視鏡検査(EUS)は胆のうや膵臓の病気を細かく調べるために必須の検査法です。超音波内視鏡(EUS)は経口的に内視鏡を胃や十二指腸まで挿入し超音波観察をする検査法ですが、内視鏡の進行方向に対して斜めにレンズが取り付けられている斜視鏡であること、また柔軟性に乏しいことから、上部消化管の上皮性腫瘍に対するスクリーニング検査には不向きです。一方、胆のう胆管や膵臓疾患の患者さんでも食道癌や胃癌のリスクはありますし、膵臓にできた液体がたまった袋状の膵嚢胞(IPMN)を有する患者さんではその頻度が増加する可能性が報告されており、スクリーニングのための上部消化管内視鏡検査(EGD)が必要になります。スクリーニング上部消化管内視鏡検査(EGD)には内視鏡の進行方向にレンズが取り付けられている直視用の通常内視鏡を用いますが、超音波内視鏡検査(EUS)と上部消化管内視鏡検査(EGD)を同一セッションで行うことで患者さんの検査負担を軽減することが出来ます。ただし、超音波内視鏡検査(EUS)と同日の上部消化管内視鏡検査(EGD)がどのくらいの腫瘍発見効果を有しているかは今まで検討されていないため、今回後ろ向き研究を行ないます。

研究期間は病院長許可日から2025年3月31日までです。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：年齢、性別、検査目的、生活歴(飲酒・喫煙)、内視鏡所見 等

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：
磐田市立総合病院 消化器内科 研究責任者 金子淳一
磐田市大久保 512-3 電話：0538-38-5000